工業っ子

No.102
—発行日—
2014.07.17
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

三部門接戦の中 1位・2位独占

ものづくりコンテスト県大会

六月十四日に行われた長崎県高校生ものづくりコンテスト。長工は旋盤・電気工事・電子回路・化学分析・木材加工・自動車整備の六部門に出場し、三部門で最優秀賞&優秀賞、一部門で優秀賞を獲得しました。

眩しい５人の笑顔 ▶

▲一つの作業を丁寧にこなす

今年も好成績 自動車整備 一、二位

佐世保高等技術専門学校にて行われた自動車整備部門。本校から出場したM3糸瀬耀孝君、M2橋本麻美さんのうち、糸瀬君が最優秀賞、川崎君が優秀賞を受賞しました。

この部門では実際の車両を用いて、エンジンの故障探求や定期点検などを模した整備を行います。

糸瀬君は大会前、「優勝を狙う」と語るも、競技後は「三年間やってきたことを発揮できたが、手際が悪かった」と少し自信がない様子。川崎君と橋本さんも競技後「思い通りの作業ができなかった」と話すなど大会の緊張感の中で力を出すことの難しさが感じられました。顧問の岡本先生は、入賞した二人に対し「おめでとう」と一言賞賛の言葉を贈りました。

九州大会に出場する糸瀬君には全力を尽くした競技で、全国大会への切符を手にしてほしいです。

準備よーし ▶

持てる力を発揮して 電子回路組立 一、二位

鹿町工業高校で行われた電子回路組立部門。長工からはD3木谷亮介君、J3神崎秀尭君、D3福田直樹君、J2森龍馬君の四名が出場し、森君が最優秀賞、福田君が優秀賞を受賞しました。

事前の取材で福田君は「去年できなかったことを今年頑張りたい」。木谷君は「今まで頑張って来たことを出したい」と大会への意気込みをそれぞれ一言。

競技後、出来を伺うと「自分がだせる力を十分に発揮できたと思う。無事に終わってほっとしている」と神崎君。D科担当の松尾和宏先生は「普段通りできていた。もう祈るしかない」と答えてくれました。

大会後、森君は「優勝出来て嬉しい。九州大会では上位までいければいいかと思います」と次への意気込みを。福田君は「十分に力が発揮できたので、二位だったけど十分満足」と笑顔で語ってくれました。また、J科担当の山口先生は「森が全国でどこまでいけるか試したい」と話されていました。九州大会でも上位入賞を果たしてほしいです。

こだわりを持った作品 電気工事 一、二位

電気工事部門は鹿町工業高校の体育館にて大会の幕が上がりました。

E3辻井祐輔君の作業は他の選手にも負けない速さと正確さ。同じくE3與賀田萌さんは周りから遅れつつも、丁寧に作業を進めていました。途中大きなトラブルもなく、ついに残り時間も後わずか。選手たちが次々と作品を完成させていく中、與賀田さんは作業を続けていました。時間寸前まで自分の作品と対峙し、間に合うか間に合わないかの瀬戸際、ついに完成。安心感からか與賀田さんの目からは涙が…。

競技後、土山先生と久保先生は「こだわりを持って施工していただいた」「出来は良いと思います」と好評価。選手からは「無事終われて安心した」と安堵のコメント。

結果は與賀田さんが電気工事部門にて女子初の最優秀賞という偉業を達成しました。九州大会でのさらなる活躍に期待です。

一〇〇%の力で 旋盤 二位

鹿町工業高校で行われた旋盤部門。本校からはP3小塩爽太君とM3中村元気君の二人が出場し、小塩君が優秀賞を受賞しました。

金属の棒を機械で回転させ、削り、作品の出来を競うこの競技。機械が所狭しと並ぶ会場で競技開始を待つ選手たち。

事前の取材で「自分自身がやってきたことをやるだけ」と話した小塩君。結果は審査員判定で優秀賞でしたが小塩君は「完全燃焼」と一言。担当の宮崎先生は小塩君に「おまえは一〇〇%がんばった」とメッセージを。時間オーバーで減点されながらも見事作品を作り上げた中村君。残念ながら入賞を逃し、「練習通りできなかった」と悔しそうに語りました。

担当の吉田先生は「この頑張りを今後、仕事をする上で役立ててほしい」と激励の一言。

一つの作品に真摯に向き合った二時間半。本当にお疲れさまでした。

▶ミリ単位の勝負

木材加工・化学分析の記事は裏面へ↓

モノを大切にする

使い捨てカメラ、使い捨てコップ、使い捨てライター、使い捨てスリッパ、使い捨て手袋、ホテルなどの使い捨てアメニティグッズetc.

これは全て私たちの身近にある「使い捨て」られる製品です。

確かに、「使い捨て」は便利です。簡単に手に入るし、使い終わるとすぐに捨てることができ、荷物にもなりません。時間に追われる忙しい私たちにとってとても便利な代物です。現在でも、次々と新しい使い捨てグッズが開発・生産されています。現在の経済システムの中ではやむをえない面があるのは確かでしょう。

さて、皆さんは江戸時代に生きた人々がどんな生活をしていたのか、ご存知でしょうか。

江戸時代の生活は今で言うリサイクル社会でした。例えば着物が古くなれば古着屋に出し、もう一度別の誰かが着物として着ます。さらに古くなれば、おむつや雑巾にして使い、最後は燃やして灰にし、染色剤や洗剤、肥料にしていたそうです。底に穴のあいた古い鍋なども修理をして繰り返し大事に使っていました。

今の時代、ものを大切にするという当たり前の気持ちが、足りていないように思えます。今日、魅力的な新しい製品が次々と出回っています。持っているにもかかわらず、ついつい買ってしまうことはありませんか。今まで使ってきた、あるいは少ししか使わなかった物達はどうなるのでしょう。引き続き使われるのでしょうか。それとも捨てられるのでしょうか。

別に江戸時代並の生活をしようといっているわけではないのです。あくまでも現代は現代の流通形態があります。ただ、江戸の人々の「ものを大切に使い切る」という考えを、私達はもう少し見習うべきなのではないかと私は思います。（杉本）

▼ 神経を研ぎ澄まして

今日の一枚 ～風ニモマケズ～

▼ きれいな向日葵

梅雨真っ直中、長雨に嫌な雰囲気が漂うこの頃。しかし、台風８号の風にも負けず、工和館横には向日葵が咲いていました。茎はどっしり、一点を見つめる姿は、ひたむきに一つのことを成し遂げようとする意志が感じられます。

夏は誘惑の季節、扉を開けるとクーラーと扇風機のW冷却、冷蔵庫を開けると大量のアイス。鞄を開けると山積みの課題。果たして乗り切れるのだろうか…。（松尾）

青春日記♪

巨大な梅雨前線により、五十年に一度といわれる豪雨が長崎の地を浸し、追い打ちをかけるが如くこれまた巨大な台風が日本に上陸したこの梅雨。

うーん、字だけで見るとえらい終末感が漂ってますね。まぁ、実際は、この熱帯低気圧はなぜか直前になって長崎を避けて行ったわけですが。

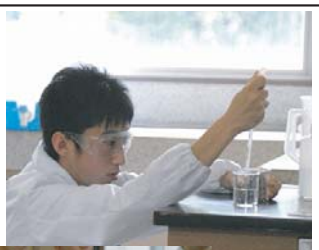
とはいえ、直撃の予報が発表された時にはそれなりに世間を騒がせたこの台風。我が家でも、雨戸を閉める、自転車や車を移動させるなどの対策を取りました。

そして迎えた、雨、風ともに最も激しいとされた木曜日。朝目覚めるなり、小窓から外の様子を確認。しかし、無風。たまたま静かなのだろうと思い、二、三時間後に再び小窓を覗くも、霧雨すら降っていない様子。そうか、台風なんてなかったんや！私達に不安と興奮と休暇を与え、「満足した」と言わんばかりに去って行くなんて。台風さんったらお茶目なのね。

さて、台風による影響は無くとも、変にむしむしすることがこの季節の難点。風呂が気持ち良くないのです。むしろ不快に感じるため、最近では専ら鳥の行水。一刻も早く風呂場から抜け出し、扇風機の風に当たるため、なにをするにもせかせか動きます。そのせいか、シャンプーの詰め替えがものっすごく速くなりました。未開封のパックを手にし、詰め替えが完了するまでの時間、僅か六秒。この技術を活かせる資格があれば、私もジュニアマイスターゴールドをとれてたのかなぁ…。一、二年生の生徒諸君は、とれる資格はきちんととっておこうね。（山田）

粘りに粘った 木材加工

木材加工部門の会場は佐世保工業高校。本校からはA3の井口清太君とA2の岩谷竜也君が出場。会場内は競技中はずっと緊張感が漂い、選手の熱が感じられました。大会前のインタビューの際に、「今の自分が出来ることを精一杯やります」（岩谷君）「長工の名に恥じないよう、頑張ります」（井口君）と語った二人。結果は入賞を逃し、悔しい結果となりましたが、二人とも意気込み通り精一杯頑張っていました。特に、井口君はギリギリまで粘って、制限時間の終了と同時に完成。カメラを通して見ていた私も、その様子にはドキドキしました。



▶一滴の重さ

会場に響く槌音▶

眼差しの先に見える世界 化学分析

佐世保工業高校で行われた化学分析部門。C3石田彩恵さん、C2田川隆成君、長工で今大会の出場者中、唯一の一年生であるC1中ノ瀬淳美さんが出場。練習中のインタビューで「三年間の集大成を発揮します」（石田さん）「工業の看板を背負うので、名に恥じないように頑張ります」（田中君）と語ってくれた選手たち。大会当日、競技会場の教室内をガラス越しに多くの人々が見守り、会場には緊張した空気が漂っていました。そのような中、選手は自分のペースで落ち着いて作業を進めていました。

結果は残念ながら九州大会進出には届きませんでしたが、顧問の中ノ瀬先生からは「よく頑張ってくれた」と選手に向けて労いの一言。来年の大会での、さらなる活躍を期待しています。

卒業生は今！ 自動車整備で大活躍した 五島聖太君

昨年度「ものづくり日本大賞」で内閣総理大臣賞を受賞した、本校機械科卒業の五島聖太君。五月の連休に、母校を訪れた五島君にインタビュー。

Q今、どんな仕事をしていますか。

―日産自動車の技能五輪自動車工職種の訓練生です。スピード勝負の競技で毎朝六km走って、筋トレしています。

Q今後の抱負は。

―十一月末の全国大会で優勝して、二〇一五年度ブラジルで開催される技能五輪国際世界大会に出場すること。

Q好きな車は何ですか。

―シルビアのS15型。いよいよ就職前線が到来します。しかし、就職することが最終目的ではなく、そこで何をしたいのかが大切。世界という目標に向かって、努力を続ける五島君の姿はとても眩しかったです。取材に応じてくれた五島君、ありがとうございました。

▼メダルと一緒に

▶**ボクシング**といえば、「蝶のように舞い、蜂のように刺す」という言葉がありますが、この写真はまさしくそれを表しているかの如く、初めて見たボクシングで奮い立ちました。素早く軽やかなステップから放たれるジャブ。一撃一撃に今までの積み重ねてきた思いが乗り、更に力を増しているかの様でした。（溝上・松尾）

あるある!!

てふ工生!!!

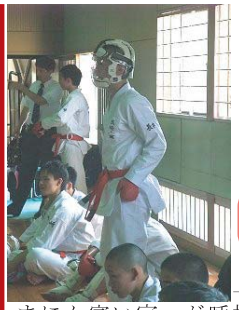
～生粋の長崎人～

”がんばらんば”

高総体 その② この一枚

前号に引き続き、高総体の写真を新聞部員の目線でご紹介します。紙面の都合上、もっと多くの写真を載せられず、残念です。

▲競技前に三嶋先生からのお話を聞くヨット部員。いつも笑顔が素敵なヨット部員ですが、試合直前は一変。緊張しつつも、一人一人の瞳には熱く燃える闘争心が見えました。そして、気を付けの姿勢が、とてもきれい。こういった一つの動作を丁寧にすることが、もしかしたら勝利に繋がっているのかもしれません。（大﨑）



◀**空手**競技。長崎工業からただ一人出場した成富君が、試合に臨む直前の一枚。畳に上がる前に深呼吸をした成富君の姿が頭に残っています。家族も応援にいらしていました。試合後の成富君にお母さんと妹さんが駆けつけるのを目にし、家族の絆を感じました。（山田）

▲**柔道**の開会式の様子。写真中央、長工の選手たちの真剣な目つきから、本気と熱意が伝わってきます。試合直前ということで一層の緊張感に包まれる会場。取材をしている私も、思わず身が引き締まりました。（下平）

◀**剣道**の試合後、先生の話を聞く選手たち。負けてもその後ろ姿は凛々しく、勇ましかったです。また、最後の取材でも私に深々と礼をした主将。謙虚で、感謝の気持ちを忘れない選手たちの姿に感動しました。来年はぜひ、多くの人に応援に来てほしいです。（甲斐田）

シリーズ 溶接1 2 3!

半自動アーク溶接③

半自動アーク溶接の資格試験のSA―2Fを受けてきました。この種目のポイントは一層目で当て金の裏まで熱により焼くことです。「裏焼けをする」と表現をし、熱により鉄板が酸化する事で当て金の裏に跡ができます。裏焼けをするということは溶接金属が溶け込んでいる証拠。鉄板と当て金が融合しているので曲げ試験でも綺麗に曲がるのです。

さて、そんなことも踏まえて練習を重ね、何とか本番は裏焼けし、鉄板を作り上げました。今回が三度目となる溶接の資格試験。おじさま方に混じって受けるのにも、すっかり慣れてきました。（甲斐田）

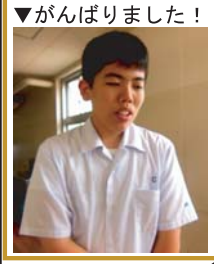
▲当て金部分が裏焼けした鉄板

後輩に優勝託す 将棋部門 準優勝

五月二十四日、二十五日に長崎東高校で開催された囲碁将棋部門の県大会。本校の囲碁将棋同好会が将棋部門にて準優勝という輝かしい成績を収めました。主将のC3角本慎也君は「目標が優勝だったので悔しい。惜しいところまでいけたので、後輩には優勝を目指して頑張ってほしい」と話してくれました。

次の活躍に期待です。

▼がんばりました！



一年生な☆日々

気付けばもう、高校生活初めての夏休み。ゆっくりと夏を満喫したい私ですが、ロボット研究部とロボット班と兼部している私にとって、夏休みはある意味なくてはならないようなものです。毎年九月後半に行われるロボット競技大会で結果を残すため、ロボ研は夏休み後半からハードスケジュールになってきます。

今年の大会の課題は暴風雨に見立てたボールを打ち、相手コートのゴールに入れるボールは対戦型競技です。ボールはゴールに入らずとも、試合終了時に相手陣地にあると、場所に応じて得点が入ります。しかし、勝利するためにボールを入れるかが重要になります。

私は、ボールとは別にある「贈り物」と呼ばれるものを取り、自陣に置きネジでパーツに穴をあけ、ネジで接続する…簡単なようで難しい作業です。ドリルは垂直にして穴を開けなければいけないのですが、これがいけないのかなぁ。先輩に優しく注意されますが、なかなか上達しない。厳しく注意されるまで前に早く上手くならなければ。

今年の夏はロボット研究部に力を注ごうと思う今日この頃です。（草場）

編集後記

ものづくり大会がいよいよまず終了し、今年も夏が来ました。三年生にとっては勝負の夏。新聞部にとっても、後輩へ職務をバトンタッチするための大事な夏になりそうです。勉強も部活も体もバテないように、暑い夏を乗り切りましょう！